

「嬉野市庁舎整備基本構想(案)」について、市民の皆様からご意見を募集したところ、47件(23名)のご意見をいただきました。いただいたご意見及びご意見に対する市の対応について、公表いたします。

1. 意見募集期間 令和3年8月16日(月)から令和3年10月5日(火)
2. 公表資料 嬉野市庁舎整備基本構想(案)
3. 周知方法 市ホームページ、塩田庁舎、嬉野庁舎、塩田図書館、嬉野図書館、各地域コミュニティセンター
4. 意見件数 47件(23名)
5. ご意見の内容及び対応 下記のとおり

番号	ご意見の内容	ご意見に対する対応
1	<p>基本方針1に準じた機能(市民サービス機能・窓口機能)について(基本構想案3頁) 安全・安心に利用できる庁舎とするために</p> <p>→来庁者や職員その他の利用者が、安心して休憩及び休養(具合が悪い時にちょっと横になれる)が出来る場所の確保をご検討頂きたい。</p>	<p>基本計画の中で、具体的に検討していくことにしています。</p>
2	<p>基本方針2に準じた機能(防災拠点機能)(基本構想案3頁)</p> <p>→塩田庁舎及び各コミュニティセンターとの連携をどのように整えて行くのかを検討頂きたい。先月のような大雨や土砂災害が市内至る所で発生した場合、どのような連携が出来るのかをご検討頂きたい。嬉野から各地区へ急いでの移動手段としては、「防災ヘリ」や「ヘリポート」等の検討も必要ではないでしょうか？</p>	<p>基本計画の中で、具体的に検討していくことにしていますが、コミュニティや防災担当とも十分に協議を重ねていきます。</p>
3	<p>基本方針3に準じた機能(施設管理・適用機能・環境に配慮した機能(基本構想案3頁))</p> <p>→この度のような新型ウィルス等の感染症が再度発生しないとは言えません。そこで、いろいろ健康危機管理が出来るような機能の配慮が必要でしょう。例えば、防災無線の庁舎と各地区との双方向対応システムや各地域とのリモート会議、また庁舎内の無煙対策として喫煙者と禁煙者や職場環境を衛る意味でも「防煙クリーン室」の設置などは如何でしょうか。</p>	<p>環境にもひとにもやさしい庁舎として、健康対策・感染症対策にも十分配慮していきます。</p>

番号	ご意見の内容	ご意見に対する対応
4	<p>各地域拠点をICTで繋ぎ…各種証明書発行サービスのコンビニ交付等行政サービスの電子化を推進します。(基本構想案4頁)</p> <p>→各コミュニティセンターでの住民票や印鑑証明書等の交付を以前は検討されていたかと思いますが、今回の計画には無いのでしょうか？是非、ご検討頂きたい。間もなく団塊世代が後期高齢となる4年後は「超高齢社会」で、移動手段が周辺地域は恵まれません。せめて行政手続きが各コミュニティセンターで出来れば助かります。また、電話一本での配達制度もご検討頂ければ助かります。</p> <p>市民みんなが「嬉しいの～庁舎」となりますように！</p>	<p>基本構想案の中の「各地域拠点をICTで繋ぎ」という文言の中には、各コミュニティセンターも地域拠点の一つとして視野に入れていますが、時代に即したICTの導入を検討していきます。</p>
5	<p>「嬉野市庁舎整備基本構想(案)」21ページ「基本方針5 まちの特性を活かした塩田庁舎の活用」に、「塩田庁舎エリア一体を子育て・文教ゾーンと位置付け、まちづくりをすすめる」とある。また同24ページには、これに関する方向性が示されているが、具体的な内容までは書かれていない。文中には、塩田中学校の記載はあるものの、すぐ周辺に位置する嬉野高校塩田庁舎についての記載はない。文教ゾーンと位置づけるというのなら、県立高校ではあるものの嬉野高校の今後の在り方について、佐賀県に協議していくといった考えも述べるべきではないか。</p> <p>嬉野高校の塩田校舎と嬉野校舎の合併が、今後どのように推移するのかについて佐賀県側と情報交換を行い、嬉野市としては塩田庁舎周辺を文教ゾーンとして整備する構想があることを伝えておくことは、佐賀県側としても学校統合に向けた材料のひとつになるはずである。</p> <p>加えて、塩田町側の市民感情を考慮すると、庁舎は嬉野町側に移ったとしても高校は塩田町側に残るとなれば、感情的にはいくらか納得できる部分もあると考えられるため、嬉野市としても十分に検討する価値のある内容ではないか。そういう意味でも、塩田庁舎周辺を文教ゾーンとして整備する構想は良いアイデアのように感じる。</p> <p>学校側の考え、佐賀県の高等学校統合計画、そして嬉野市の文教ゾーン構想、この3つの思惑が合致するのなら、嬉野高校の塩田校舎への一本化及び塩田庁舎エリアの文教ゾーン構想は、十分に実現可能かつ有意義な内容ではないか。まずは一度、佐賀県と嬉野高校に対して協議の場を設けたい旨を打診すべきだと考えるがいかがか。</p>	<p>嬉野高校の校舎に関しては、既に県にも確認をいたしております。今後の方針としては当面の間、2校舎体制のまましていくという考えでありました。</p>

番号	ご意見の内容	ご意見に対する対応
6	<p>1庁舎案に賛成します。</p> <p>現在のようなスタイルでは、小さい子どもを連れての来庁や、身体の不自由なかたにはとても不便です。たらい回しにされることもしばしばあると聞きます。できれば、わかりやすく、また、広くてつかいやすい造りにしていただきたいです。ただし、現在ある子育て支援センターや老人福祉センターのような施設は、ひとつにまとめたりせず、わけてつくっていただきたいです。</p> <p>子育て、福祉、2つのセンターを併設してもよいかと思えます。若い世代のかたや、他県から移住されてきたかたたちが安心して暮らせる市にするために、もっと親切な施設をお願いします。特に子育てに関しては、移住されてきたかたは、周囲に頼ることも難しいのが現状です。もともと嬉野に住んでいたり、何かしらの繋がりがある方からは想像がつかないかもしれませんが、本当に孤独な中で子育てをされています。</p> <p>「困っているなら、助けを求めたらいいじゃない」という受け身でいるのではなく、多少おせっかいかもしれないけどいろんなことに口を出すぐらいの支援が必要だと思います。</p> <p>いまの子育ては情報が溢れてしまっているため、便利なようにみえても、実際は想像以上に大変です。</p> <p>だからこそ、身近で直接会って話せる場所を行政には用意していただきたいです。</p> <p>庁舎をひとつにまとめて、空いた敷地などを活用し、子どもたちが楽しく集えるような児童館、ならびに子育て中のかたたちが気軽に集えて悩みを打ち明けられるような、子育て支援センターの開設を望みます。</p>	<p>基本構想案の基本理念に掲げているように「すべてのひとにやさしい 安全・安心なうれし舎(や)」を目指して整備していくことにしています。新庁舎にも塩田庁舎にも子育て支援の観点は欠かすことのできない要素であると認識しています。</p>

番号	ご意見の内容	ご意見に対する対応
7	<p>9月10日の説明会に参加しましたが、最終的な庁舎整備方針を容認するには説得力がなく、具体的な市長からの方針への提案にも説得力がなく庁舎整備には容認できませんでした。もし整備方針の変更が可能であれば(検討委員会で十分協議されたとは思いますが)『2庁舎体制』を検討できないでしょうか。また、人口、市議も嬉野町の方が多いためこのまま進むのかもしれませんが、嬉野町の見聞も聞きたいのですが「塩田町の方はどう思っているの」との声が上がって来ることを期待したい。</p> <p>○2庁舎体制の理由</p> <p>①議会場を設ける必要がないので建設面積も今の嬉野庁舎より少なくすみ、建設経費が極端に削減が出来、市の自己負担分が少なくなり市民の負担が軽減される。軽減された費用は他の市民サービスへと予算化(給食費の無償化、少子化対策等)が可能。</p> <p>②合併協議会の決まり事であった名称は「嬉野市」、本所は「塩田町」の考え方が保たれ、両町の感情も軽減される。</p> <p>③庁舎のコスト軽減は少なくなるが、庁舎間移動費用、重複人件費等の経費は国のデジタル庁も出来ましたので、ITを利用(リモート等)してコスト削減への工夫は出来るのでは。</p> <p>④嬉野町においては水害の被害は少ないと思いますが、地震で庁舎が被害があった場合は2か所あった方が庁舎を防災センターとして利用できる可能性が高い。</p> <p>⑤近くに庁舎があった方が市民としては利用しやすい。(今後高齢化社会を考えた場合)</p> <p>⑥今後また市町村の合併が進んだ場合、佐賀県の端にある嬉野は本庁となる可能性は低く、庁舎建設にお金を掛けて大きな庁舎はいらない。</p>	<p>長期的なトータルコストを考えた場合、1庁舎体制への移行が適切だと判断をしました。庁舎に求められる重要な役割として災害対策拠点機能があり、地震や大雨などの災害時に、機能が分散することなく、適切に機能することが市の安全を守ることになります。将来的な市の財政負担を十分に考慮し、身の丈にあった庁舎を整備していきます。</p>
8	<p>庁舎整備基本構想に関しては、時期尚早で反対です。理由として、合併の一番大事な市の名称と庁舎の場所、その場所の変更に関する問題なので、もっと塩田町民に丁寧に説明をし理解を得た上で進める話だと思います。</p> <p>又、災害(水害)の時の対策本部にならないと言われますが、まず行う事は庁舎を移す事ではなく、災害がこないようにする事が先ではないでしょうか？ 今回の大雨(8/11~15)では嬉野にあれだけの雨が降ったにもかかわらず、大災害にならなかったのは本当にダムや河川改修のおかげで最小限の災害です。だんじやないかと思いますが、布手地区の堤防の修理(私が消防団に居る時から傷んでると言われていました)や、塩田川と八幡川の合流地点より下流の川幅を広げて流れを良くする工事など水害がこない対策が今急務ではないでしょうか。</p>	<p>様々なご意見があることは承知しておりますので、いろんな機会を設けてご意見を賜っていきます。また、近年の大雨は毎年発生するという想定のもと、支流域まで行きわたる治水対策を行うとともに、佐賀県全域における治水対策についても、国・県と協議していきます。</p>

番号	ご意見の内容	ご意見に対する対応
9	<p>合併するにあたって名称が嬉野市になったいきさつについては、有権者のほとんどの方が御存知のことと思います。そこで庁舎の件ですが、塩田庁舎がどうにもこうにも危険度が高く今すぐにでも建て替えが急務なら庁舎移転の検討があってもやむを得ないことと思います。しかしあと20年は耐用年数があるとのことで移転するのが今なのでしょうか。</p> <p>またこの先もしも、鹿島・太良、もしかすると杵藤広域圏で大合併することになりにもしたら、嬉野町に建てた新庁舎はどうなるのでしょうか。</p> <p>あとチャオシルにも年間2,000万円の管理費がかかっていると聞きました。沢山ちよちよこと箱物を建てるのが市の仕事ではないと思います。</p> <p>それだけでなくも甚大な自然災害、先の見えないコロナ禍に追われる状況でもっと我々市民の苦しさに寄り添って頂けないでしょうか。</p> <p>これからの子供達の将来をどうか考えてやって下さい。新庁舎は今ではなくあと20年の間にじっくり社会情勢を見きわめながらでも遅くはないと思います。</p>	<p>将来的なことを考えた上での「嬉野市庁舎整備基本構想(案)」であり、市民の皆様の安心と安全を守るためにも、今の判断が適切であると捉えています。</p>
10	<p>本庁が塩田庁舎から現在の嬉野庁舎の場所に整備されることですが、現在塩田庁舎の周辺には、中央公民館、図書館、社会福祉協議会、商工会があります。</p> <p>本庁の移転に伴い、これらの施設や団体が、嬉野地区で統合する計画になると思います。</p> <p>また、行政と一体として事業を進めるとして、新庁舎内に他の団体の事務室のスペースを取り込むとか、敷地内で連結させる計画案はありませんか。</p> <p>また、専門高校の再編に伴い、嬉野高校塩田校舎が嬉野校舎に統一されることも考えられます。</p> <p>もし、本庁の移転に伴い前述の施設等が移転すれば、塩田町の中心である塩田庁舎付近は廃墟になり、塩田町住民の心が嬉野市から離れるのではないかと危惧します。</p> <p>塩田町民が納得する施策をお願いします。</p>	<p>新庁舎には、複合的な視点も取り入れていきますが、塩田庁舎の活用に関しては、市民の利便性が向上するような機能の配置を検討していきます。</p>
11	<p>塩田に建てるにせよ、嬉野に建てるにせよ災害を意識した浸水などの被害もない場所への新設を希望します。また駐車スペースが広いといいなと思いました。立体駐車場など。</p>	<p>駐車スペースは、庁舎の利用頻度等も考慮しながら決定していきます。</p>
12	<p>総合案内所があるとよいと感じました。そこに訪ねれば必要な課を案内してくださる、そういう窓口があると、嬉野市の方はもちろん転入してこられた方々にとって利用しやすいと思います。</p>	<p>利用しやすい庁舎を目指し、他自治体の先進事例等を参考にしていきます。</p>
13	<p>子連れでも利用しやすいように待ちあいスペースやキッズスペースなどの設置を希望します。配置についてなどもたくさんの声をひろっていただきたいです。ベビーカーや車椅子などでも利用しやすいように通路が広めであるとよいなと思います。</p>	<p>基本構想案の基本理念に掲げているように「すべてのひとにやさしい 安全・安心なうれし舎(や)」を目指して整備していくことにしています。子育て中の方の庁舎利用に際しても、きめ細やかな視点での整備に努めます。</p>
14	<p>1階にチラシやパンフレットばかりをまとめたスペースなどがあるとどうかと思いました。様々な情報をそこで得ることができるのではないかとと思いました。</p>	<p>様々な情報発信のスタイルがありますので、時代に即した情報発信を検討していきます。</p>

番号	ご意見の内容	ご意見に対する対応
15	<p>パブリックコメント自体について。 私自身が関心を持ったのは嬉野市のホームページを読み込んだときです。これは一体なんだろう？ というところから。パブリックコメント自体をご存知ない方も多いのではないかと思います。市民の声を募集する動きでもありますので、多くの発信を希望します。今回、新聞や回覧板などでも様々な発信がありよかったですと思いました。パブリックコメントの原本が嬉野庁舎、塩田庁舎に置かれていましたが、今回どちらも2階であり、直接見たい場合すぐに訪ねられる場所でもないよ。うな印象を受けました。(もちろんそのときのテーマによって置かれる場所が変わってるかもしれませんが)また手にとってゆっくり読むというようなスペースではないような印象も受けました。庁舎でもどこかスペースの確保できる場所や図書館などに設置していただくと皆さんの目に触れやすいのではないかと思いますので今後検討いただければと思います。また意図的に何か目的があってルールがあってそのようにすすめられているのであればその旨教えていただければと思います</p>	<p>閲覧場所については、ルールがあるわけでもございませんので、図書館等にも設置するよう配慮していきます。</p>
16	<p>塩田庁舎の活用方法として、跡地を『子育て・文教』関連をテーマとして活用していくという発信も目にいたしました。現在子育て中の私にとってとても関心があります。力を入れていただくのであれば、子育て世代の方々や子育てをサポートする立場にある方々の生の声をたくさん聞いていただきたいと思えます。声を聞いていただける機会をいろんな形で設けてほしいです。より充実したものとなるように必要とされる場となるようにどうかよろしく願います。</p>	<p>子育て世代の方など子育てに関連されている方々のご意見を聞く場を設けていきます。</p>
17	<p>庁舎新設の方ではなく塩田庁舎跡地の活用についてというところになりますが、子育て、文教に力を入れるのあたり本当に子育て世代、子育て環境への意識が高まることを期待します。婚活はもちろん、そこから結婚、出産、産んで終わりではなく子育てが始まります。妊娠中から悩みや不安を抱える母親や出産、産後の子育てについて悩みやストレスを抱える母親も少なくありません。子供だけに目を向けるのではなく、どうかその子供を産み育てていく親や環境に意識を向けていただきたいと強く思います。 塩田庁舎跡地でなくても、市に【妊娠期から産後、継続して関わられるような場、相談窓口】施設があるといいなと思っています。市役所であればもちろん相談はできると思うのですが、電話して予約して何うハードルの高さを考えたときに何気なく立ち寄れる話ができるそんな場所があるといいなと思いました。若い方々が結婚、妊娠、出産、子育てに関して、大変、辛い、忙しい、ストレスよりも楽しい、幸せ、愛情、感謝 そんなイメージを持てるようなそんな環境になることを切に願います。それがまた子供を産み育てていくこと、子供自身の幸せな未来に繋がっていると思えます。何ごとも簡単なことではないと思いますが、意見を聞いていただける機会に感謝します。</p>	<p>ハード整備だけでなく、ソフト面でも市民の皆様の満足度を高められるよう努めていきます。</p>
18	<p>子育て環境に関する意見を下記の書かせていただきます。 予約無しで子供を預かってくれる場所が欲しい。 屋内で遊べるような遊具がある子育て広場が欲しい。 子育て広場の入り口は子供が簡単に出ることが出来ない構造に。</p>	<p>子育て支援のニーズを把握し、反映していきます。</p>

番号	ご意見の内容	ご意見に対する対応
19	<p>庁舎について 現在の二庁舎体制から一庁舎体制が望ましいと思います。一つの市に、一箇所の市役所で十分ではないでしょうか。経費の面、二箇所にあるが故の煩雑さ、引っ越されてきた方は、困っています。わかりやすい、市役所であってほしいです。水に浸からない、地震で倒壊しない、市役所であってほしいです。</p>	<p>将来を見据えた庁舎のあり方を示したのが「嬉野市庁舎整備基本構想(案)」であり、基本構想(案)に基づいた庁舎を整備します。</p>
20	<p>塩田庁舎の活用法 子育て、文教ゾーンに、と書かれていました。子育て世代、嬉野の未来を背負って立つ子ども達のために、ありがたいお話だと思います。 まず、子育て世代のママやパパ、当事者に意見を聞いてから、作ってほしいです。良かれと思って、建ててみたけど、使いにくかったり、危なかったり、ほしいスペースがなかったり…、そんなことにならないように子どものために作るなら、子どもや保護者に意見を求めてほしいです。 子育て広場の建物に、図書館がある、こどものための行政手続きの窓口があると嬉しいです。 いろんな年齢の子どもたちが、自由に集える場所があるといいです。小学生なら、思いっきり走れる、中・高生なら、WIFI環境やバンドの練習、学習できる環境が、ほしいと思います。 まだまだ、書きたいことは沢山あります。 このようなパブリックコメントを、出せる機会を作っていただいて、ありがとうございました。</p>	<p>子育て世代をはじめとする多くの方々のご意見を聞きながら、塩田庁舎の活用を検討していきます。</p>
21	<p>(1) 今後、急速に進行する人口減少問題を直視した計画をお願いしたい。 ・地方創生(ひと・まち・しごと)(2017年当時)に話題になった「人口問題研究所 将来推計人口」のデータを見直すと、2020年度嬉野市の推計はほぼその通り。 ・令和2年10月の県内人口を「佐賀県人口主要指標」によると、嬉野市は人口減少率、老年人口割合(35.9%: 県平均30.4%)と他の地域より「5ポイントも多い高齢者を抱えていること」。 ・今後10年の推移を見ても、急激な人口減少の現実が待ち受けていること。</p>	<p>財政的にも機能的にも、将来の人口減も視野に入れた上での、新庁舎を整備していきます。</p>
22	<p>(2) 新庁舎の建設により、財政的に市民にしわ寄せ感が無いようにお願いしたい。 ・特に高齢者にとっては、国民健康保険税、介護保険税の負担増加が問題化している昨今、嬉野市は、県内の国民健康保険療養費の負担額は高額負担の上位に位置づけられる。(建設財源とは、違うかも知れませんが) ・東日本震災による復興特別税は2038年まで免れそうにないし、現下のコロナ対策による特別税や消費税等も徴収される可能性が高い。(国の問題ですが) ・市民の庁舎建設による負担額を分かりやすく説明することが必要と思われる。</p>	<p>財政的にも機能的にも、将来の人口減を視野に入れたうえでの新庁舎を整備していきます。また、新庁舎整備費も明らかになった時点で、説明していきます。</p>

番号	ご意見の内容	ご意見に対する対応
23	<p>(3)耐用年数による庁舎建替えを主に考えると、コンパクト化をお願いしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・提案されている庁舎延べ面積は、約8,000㎡と置かれているが、その根拠は旧庁舎の合算値であり、職員数、市内人口も減少している現実を再考願いたい。(合算値はあまりにも乱暴すぎるのではないか)</li> <li>・昨今のデジタル化やスマート化(マイナカード、電子化による証明書等)の流れからすると旧スタイルの高層の1庁舎にこだわらず、分散型のスマート化も加味・検討されたい。(国ではデジタル庁も発足し、今後加速度的に行政サービス事業化が進むと考えるべき)</li> <li>・高齢者の直接足を運んでの庁舎利用は少ないと思われる(アンケート結果には来庁者数の表示が無い:令和元年実施アンケート調査)が、今後は、上記(1)の若者の絶対利用数の急激な減少が想定できる。</li> </ul>	<p>新庁舎は、ICT技術の進展等を視野に入れ、将来を見据えた規模の建物を想定しており、必要な機能を集約した適切な規模の庁舎とします。面積は類似団体面積及び現状面積を考慮したうえで想定した現時点における最大の面積であり、具体的には基本計画の中で決定していきます。</p>
24	<p>(4)計画される新庁舎のランニングコストの検証(公表)をお願いしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設備計画等も加味して検討される基本計画のまとめの段階で、ランニングコストの公表を実施すべきである。</li> <li>・今後の公共施設整備の事業手法については、庁舎の維持管理費の検討(上記公表)が可能な事業手法の選択をお願いしたい。</li> </ul>	<p>新庁舎のランニングコストは、基本計画の中に盛り込み、公表します。</p>
25	<p>(5)コロナ感染進行中につき、建設事業スケジュールの変更、延期もあって良いのでは。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現下の状況から予測しがたい事象も見込まれます。計画や内容の変更はあってしかるべしと考えます。</li> </ul>	<p>現嬉野庁舎の老朽化が著しく、危険度も高まっているため、早期の整備が必要と考えています。</p>
26	<p>塩田庁舎の耐用年数を20年以上残す中で、その機能(本庁)をなく奪し新庁舎への1庁舎体制に移行することは合併の合意事項に反する行為であるばかりか、甚だしい無駄遣いである。</p> <p>市民説明会を通して、当該検討委員会の報告には無かった「住民感情」という新たな課題についてその大きさに気付かれたと思う。</p> <p>市長は『嬉野庁舎のあり方検討委員会』の報告よりも、市民説明会で市民から出された生の意見を「重く受け止める」べきではないか！</p> <p>庁舎統合の必要性は、皆さん理解をされている。しかし、統合は今ではない！</p> <p>嬉野庁舎の老朽化に伴う更新の必要性は理解するが、現段階では恒久施設を計画しなくても良いのではないか。</p> <p>塩田庁舎が耐用年数を満了するまでの期間は仮設の施設等で嬉野庁舎の機能を補完しつつ、市長が示した庁舎統合方針で生じた塩田町地区市民の反感を取り除き、時代に即した施設整備計画を時間かけて検討されることを提案する。</p>	<p>将来までを見据えた視点で、嬉野市にとって最適な判断をしていきます。</p>

番号	ご意見の内容	ご意見に対する対応
27	<p>1 基本的な立場 私は市庁舎を整備することにも、検討することにも反対するものではない。まずは、検討に相応しい環境が適切に整備されることを要望するものである。</p> <p>2 形式的、内容的な問題 現提案は形式的(手続的)にも内容的にも議論に相応しい環境が出来ていないと考える。</p> <p>3 手続の問題として ①「嬉野市第二次総合計画」(2018年～2025年)に明記されていない。 私は平成30年、同計画(案)へのパブコメ募集に応じたが、この構想があれば民生委員の立場から、必要な意見を出していた。(応募はわずか2件だった) 今回、改めて読み直した。関連すると思われる箇所は次である。 ・第4部 分野別政策 6.まちづくり体制分野「4.行政計画」の施策展開「機能的かつ効率的な行政組織体制を整えます」に「組織体制の構築」「適正な定員管理」等が挙げられているが、これを庁舎課題ということはできない。 ・同「5.財政計画」に「公有財産を適正に管理し、財政負担の平準化を図ります」があり、「公共施設の集約・複合化の検討」がある。しかし、ここを庁舎問題と読むことはできない。同計画は全体が2庁舎体制を前提とした展開となっており、庁舎を公共施設一般に含めることはできない。 ・また、策定は平成30年3月であり、谷口前市長が進めたもの。前市長は「2庁舎体制は合併時の約束」と議会で答弁したと言われており(正確な「事跡」を作成していただきたい。後述)、もし、嬉野庁舎への統合、塩田庁舎の廃止を同計画で意図していたとすれば、倫理的な問題が生ずる。 構想案では「嬉野市第二次総合計画」を上位計画としているが、明示的に提起されていず、根拠がない。 ②庁舎統廃合のような大きな構想の提案は、他分野への影響が著しいものとなり、あくまでも上位計画の修正(ローリング)もしくは、抜本的改定をもって行われるべきであって、手続として満たしていない。 ③関連して、手続を踏まず、このような提案に到った「事務管理」「マネジメント」の不備(様々な防護“protection”を突破して発生したエラーと言えなくもない、職員のだれもこの進め方はおかしいと言わなかったのか)を生じた要因を掘り下げるべきである。</p>	<p>第二次嬉野市総合計画の基本方針に定めている6つの分野別政策の中の、「安全・安心」、「まちづくり体制」に新庁舎建設につながる考え方がありません。</p> <p>「安全・安心」 引き続き地域との協働による、防災・防犯対策を実践するとともに、消防・警察などと緊密に連携し、緊急時には迅速かつ適切に対応できる体制を構築します。市民と行政が一体となり、安全・安心な生活を守ります。</p> <p>「まちづくり体制」 「量」から「質」の改革による行政経営へ軸足を移し、新しい時代に対応する行政サービスの整備、公共施設の集約や機能複合化の推進など、将来にわたり持続可能な行財政運営の実現に向け最善を尽くします。</p>

番号	ご意見の内容	ご意見に対する対応
28	<p>4 内容の問題として</p> <p>①庁舎に関わる公式な「事跡」を作成して頂きたい。 合併時、「名前は『嬉野市』、本庁舎は『塩田』という合意があったとされている。また、谷口前市長が「2庁舎体制は合併時の約束」と議会で答弁したと言われている。 あくまで対等の合併であること。これは塩田町民にとって、心のよりどころでもあった大事な要素。だから、説明会参加者は今回の提案は唐突だと受け止めている。 文書や議会での市長答弁をまとめて、庁舎に関わる「事跡」を作成していただきたい。財政とともに、行政の継続性は信頼の核心となる。</p> <p>②変更した理由を明らかに 合併時には新生嬉野市の「理念、目標、戦略、具体的展開…」など、これから市をどのように発展させるかの長期ビジョンがあった筈である。(嬉野庁舎の老朽化も分かっていた)このビジョンに照らして、以降、どのような変化があり、合併時構想を変更せざるを得ないのか、ここの説明が欲しい。合併時ビジョンから言えば、嬉野庁舎は嬉野庁舎でコンパクトに建て替えるということが延長線上にあるのではないか。</p> <p>③大局的な観点から プレゼン資料に「公共施設等総合管理計画」から見ると40年後に150億円の財源不足、2庁舎体制だと「通常維持費に22.2億円加算」という文字が躍る。 縮み行く日本、発想の転換が必要で、公共施設を身の丈に合わせてコンパクトにすることには誰もが異論をはさまないだろう。 少し、横道にそれるが、それなら、なぜ新幹線に固執するのか。 「生活に欠かせない社会インフラの維持・整備すら、財政難で困難になる」というのにフル規格新幹線まで通して、後世に多大な負担を残すというのは納得できない(平成30年5月)。嬉野市第二次総合計画のパブコメ募集に私がこう意見を述べたら、「国策だから」と回答があった。 私は現在、10年前のデジタルテレビを観ている。新幹線とは無理矢理「4K、8K(リニアがそう)に変えろ」と言っているようなもの。新技術は特殊な分野では必要でも生活には要らない。行政は第一に市民生活におけるサービス機関である。 国策事業であった諫早干拓など振り返ると国策に無批判的にしたがう発想自体を変えなければならないことが教訓となる。「部分最適」的な経済合理性の観点からばかりでなく、世論を二分するような事業が将来に残す禍根のことを考えるべきである。強行すれば、住民のポテンシャルを失う。</p> <p>④住民の意見をよく聞く姿勢こそが相互理解を促進する。 ちなみに、上位計画の一つである「嬉野市立地適正化計画」(平成30年3月)は、その上位計画である「嬉野市公共施設等総合管理計画」(平成28年12月)のなかの「基本的考え方」において、「施設の更新にあたっては、地域間の均衡、施設利用者のアクセス性、管理の効率性を考慮するとともに、『日常的に利用する施設は地域ごとに、全市的に利用される施設は中核的な地域(嬉野や塩田の中心地)に集約化』といった住民からの意見を踏まえ、統合・複合化を推進」としている。(下線は「計画」自体のもの)ここを踏襲するならば、今回の統合案は大きな路線変更と言わざるを得ない。 医療・介護の現場では倫理的な判断に迷うことが日常的に起る。そういう時、「一度で決めない。一人で決めない」という原則がある。これは、様々な分野で物事を進める場合も同様である。</p>	<p>合併協議会の会議録及び議会議事録があるので、改めて市長答弁をとりまとめることは考えていません。 基本構想案の中に、現庁舎の課題及び新庁舎建設の必要性と考え方を示しています。 市民の皆様のご意見を聞くためのパブリックコメントの実施と市民説明会の開催でしたが、さらに幅広くいろいろな立場の方々からもご意見を聞く場を設けていくことにしています。 また、市民に身近な窓口サービスは継続していきます。</p>

番号	ご意見の内容	ご意見に対する対応
	<p>⑤機能集約だけでなく分散化・多面化も もう一つは行政機能の集約が強調されているが、当然ながら分散化も求められているということ。少子高齢化が猛スピードで進行している。市全体を具体的にシミュレーションしたきめ細やかな施策が必要となる。</p> <p>とくに、住民に身近な窓口機能が必要とされる。地域包括支援センターが市内2箇所から3箇所になったのは自然の流れ。住民目線で高齢者を認知症や社会的孤立、孤独死から守る態勢構築が望まれる。(温泉区は、ある意味、民生委員活動を越えた困難があり、街中での「暮らしの保健室」開設、コミュニティ・ソーシャルワーカー配置などが考えられる)</p> <p>福祉は人であり、超高齢社会では福祉に携わる市役所職員が人口比で減らないことを覚悟する必要がある。</p>	
29	<p>5 意見の公開について 説明会参加者から「出された様々な意見やそれにたいする答弁をどう公開するのか」という質問があった。</p> <p>「パブリックコメントを募集している。意見を出してもらえばホームページで公開される」と答弁された。ホームページを閲覧できる環境は市民一般のものではない。これまで数年間のパブコメへの意見提出はゼロあるいは1~2件が多い。また、市の回答の仕方が通り一遍に終わっているものも多い。さらに、当事業の規模・性格から通常のパブコメ募集案件とは異なり、適切ではない。</p> <p>各説明会で出された意見を集約して、小冊子(Q&amp;A)]にするなど広く市民に伝える手段を考えるべきと考える。</p>	<p>パブリックコメント及び市民説明会での意見等については、整理したうえで、市ホームページで公開することとしています。市役所、図書館及び各地域コミュニティセンターでも閲覧できるようにします。</p>
30	<p>嬉野町へ庁舎を移転するなら</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 住民が一回の来庁で用事が済むように総合案内所で処理できるようにする。</li> <li>2) 防水について、馬場下ポンプ場を堤防の高さに上げ、堤防の上より放水できるようにする。</li> <li>3) 原町地区は大雨の時、避難所へ行くことができないので、原町公民館を避難所とする。建て替えるための補助金をお願いしたい。</li> <li>4) 嬉野高校の塩田校舎を嬉野校舎の敷地に移転して、塩田校舎をリフォームしてマンションを作り売り出し、人口増をはかる(50~60戸)。又、体育館は避難所として残し、運動場は分譲地として売り出す(30戸)。塩田地区の水害により、浸水する人、崖崩れを心配する人を優先に売り出す。又、武雄、大町などの被災した人々にも売り出す。</li> </ol>	<p>行政サービスが著しく低下しないように、庁舎間のネットワーク機能の活用や市民窓口における職員の配置を考えていきます。</p>

番号	ご意見の内容	ご意見に対する対応
31	<p>初めに、「起承転結」論法により、「嬉野市庁舎整備基本構想(案)」に対する「意見および提言」を記していく、としたい。</p> <p>確かに「嬉野市庁舎整備基本構想(案)」は、さまざまな視点から、理路整然とまとめられており、素人の小生が論ずるだけの専門的な知識はない。だが、一点だけ、嬉野市民の人口の扱い方について、懸念がある。「5 概算事業費」(30ページ)の項目でないことについて、所感を述べたい。</p> <p>1 その上で、「起」(決=結論でもある) 新市庁舎建設は、次期尚早である。</p> <p>2 「承」 住民基本台帳人口(平成30.1.1)武雄市49,315人(令和元年10.1=48,011)。嬉野市26,680人(同=25,972)この延床面積は武雄市8,645㎡(職員数310人)。嬉野市7,453㎡(同188人→新築時の想定面積8,000㎡)。</p> <p>本体工事費 武雄市約29億円。嬉野市の新築費は約36億円(単純計算すると8,000㎡×450,000)となる。ところが、この数字は、意図的にか、明記されていない。なぜなのか? 人口は武雄市より22,635(45%)も少ない。半分強だ。にもかかわらず、あくまでも人口にたいしての1比較だが、7億円(36-29)も多い。なぜか?</p> <p>3 「転」平成18年(2006年)1月1日塩田町と旧嬉野と併時の人口は30,388人。令和3(2021年)年7月31日現在25,388人。15年で5,000人(年平均で330人)も減少している。今後、10年後には、これまでの現象傾向が続くと、3,300人も減り、22,000人ほどに。22年後には2万人を割る計算になる。</p> <p>4 「結」こうなれば、佐賀市や唐津市などのように、近隣市との大合併をしないと、市としての行政機能が果たせなくなるのではと、老婆心ながら、心配。“血税”がムダになるのではと、恐れている。そこで提案。住民投票の多数決で「新庁舎建設」について、賛否を問うてはいかがでしょうか!</p>	<p>面積は類似団体面積及び現状面積を考慮したうえで想定した現時点における最大の面積であり、新築費と合わせ具体的には基本計画の中で決定していきます。なお、住民投票の実施は、考えておりません。</p>
32	<p>妊娠・出産から子育て中に必ず必要な手続きには、スムーズに窓口へ行ける様な動線にしてほしい。</p> <p>キッズスペースもあると有難いですが、その場所がママの死角にならないように安全な場所に配置してほしい。</p> <p>授乳室やトイレは親子が一緒に入れる広めな個室を作ってほしい。</p> <p>子育て支援センター内に子どもを降ろして、行政手続きができるなど、柔軟な対応にも期待しています。</p> <p>図書館と隣接した児童館を作ってほしい。</p> <p>小学生が放課後、1人でも安心して出かけられる場所が必要。</p> <p>市民が気軽に行きたくなるフリースペースもほしい。</p> <p>庁舎を1か所に集約し、各課職員間の情報伝達ミスを防ぐ対策をしてほしい。</p>	<p>新庁舎は基本構想案の基本理念に掲げているようにすべてのひとにやさしい庁舎とし、市民の皆様にご利用しやすく、気軽に立ち寄れる庁舎を目指していきます。</p>
33	<p>1庁舎体制へ移行し、現嬉野庁舎位置もしくは、周辺に新しく市庁舎を整備することに大賛成です。</p> <p>1箇所ですべて対応していただくと大変便利。安全安心な場所への建設をお願いします。</p> <p>塩田庁舎を子育て・文教ゾーンにするのはとても良いと思います。その際、授乳室やフリースペースを設けて欲しいです。駐車場は広く、ドアを開けてもぶつからない間隔を希望。屋根付きの駐車スペースも希望します。</p>	<p>塩田庁舎周辺エリアを、子育て・文教ゾーンとして位置付けている中で、塩田庁舎を含めた具体的な利用に関しては、子育て世代の方々をはじめとする市民の皆様からのご意見を賜りながら計画していきます。</p>

番号	ご意見の内容	ご意見に対する対応
34	<p>1 新庁舎の建設場所について、私は今の庁舎の跡地を利用するA案を支持します。段差が小さくて、高齢者でも利用しやすいこと、B案だと車の出入りがしにくくて、危ないと思うからです。それに今の場所が市民になじんでいます。よく考えて選定された場所だと思います。</p> <p>2 Bも併せて利用する考えは人口の割に規模が大きすぎて不経済です。跡地は公園や駐車場として利用するのがベターかと思います。</p>	<p>基本構想の次のステップである基本計画の中で、決定していくことにしていますが、利便性や財政面など様々な視点から検討していきます。</p>
35	<p>3 新庁舎は、県産材を多用したフローリングの床にしたりして、古くなっても修復しやすい構造にしていきたい。木を多用した職場は職場環境もよくなり、市民も足を運びたいと思います。仕事の能率アップにもつながります。新庁舎は職員や市民が、感染症に感染しにくい構造にしていきたい。ゆったりしたスペース、感染症対策空調を設置するなどです。</p>	<p>維持管理の面のほか、感染症対策にも配慮した構造を検討していきます。</p>
36	<p>4 一つの窓口で、用件がすませるしくみや構造にしていきたい。死亡届けから保険証の返納など市民が何もしなくても、聞かなくても、すべて一つの窓口で用件がすませられるようにするなどです。しらないで、埋葬料をもらいそこなったりしないようにしてもらいたい。一つの手続きで派生する手続き全般が1か所でできることがベストです。</p>	<p>ワンストップサービスの導入に向けた、フロアの配置を検討していきます。</p>
37	<p>5 基本方針の1～5について私も賛同します。庁舎のランニングコストを維持するためにも、屋上に太陽光や風力の発電設備をおいたりすることもご検討願います。私は人員を減らす必要はないと思いますが、事務の合理化でもっと多くのサービスが提供できるようになればいいかなと思います。例えばAIを利用して仕事に活用すれば、的確な防災情報の提供ができたり、事業のみなおして無駄な出費をなくしたり、今、行政訴訟が多くなされて行政のチェック機能が問われていますが、AIを活用して不正やまちがいをチェックできるようにすれば、市政に対する市民の信頼も維持回復できるのではないのでしょうか。AIは人から仕事をうばうという考えもあるようですが、私はそうは思いません。AIの活用によって、多くの視点から行政をチェックでき、より多くの仕事が効率よくできるようになり、職員の質も向上し、行政サービスにつながります。そのためには、新庁舎にそれに対応する設備を整備していきたいと思います。AIの活用は防災感染症の拡大予防になるのではないのでしょうか。職員のAI活用の訓練も必要ですし、より高度な仕事ができ、やりがいのある仕事になるとと思います。</p>	<p>AI・ICTの活用は、新庁舎の行政サービス等の向上の中で導入を図っていきます。</p>
38	<p>私は、市庁舎整備基本構想には、このタイミングでは反対です。まず塩田庁舎が建てられて27年、庁舎の下が浸水する事は分って建てられ、嬉野町と塩田町が合併される時点でも分っていたことです。</p> <p>そして今、このコロナウィルス感染の中、また8月の大雨での土砂くずれ、水害、住民は不安を抱えています。取り組まれる優勢順位が違うのではないですか？</p> <p>新庁舎が移転建設されると、膨大な借金を未来の子ども達に背負わせたくありません。子ども達が安心して住めるためにも水害対策に力を入れるべきではないのでしょうか。</p>	<p>地球温暖化を要因とする近年の大雨は、年を追うごとに強大化してきており、市民の皆様の命を守るため、直接的な水害対策は県とも連携しながら全力で取り組んでいきます。市民の皆様の安心と安全を守る拠点としての新庁舎の整備であり、また市民の財政負担を極力小さくする庁舎整備を考えています。</p>

番号	ご意見の内容	ご意見に対する対応
39	<p>9月2日の市民説明会で「各地区説明会終了後、出された意見及び寄せられたパブコメを整理し、まとめた基本構想(案)を10月中にも議会に説明をして議決を受けたい。」と説明があった。</p> <p>基本構想(案)の議決を受けるということは、議決の時点で基本構想に書かれている「庁舎を統合し、嬉野に新築する。」ということが「事実上決定する。」ことではないのか？</p> <p>説明会でその事には一言も触れず、市民にとって最も重要な事を秘密裏に進める事は許されない！</p> <p>説明会で出された意見を尊重して基本計画を白紙撤回するのであれば、10月の臨時議会で議決を受けるということは理解できるが、庁舎統合・移転の内容がそのままの計画であれば市長選挙前に議決を受ける事は「やってはいけない！」と、声を大にして申し上げる。</p>	<p>基本構想案の議決の時期に関しては、市民説明会のご意見も踏まえ、今一度立ち止まり検討していくことにしています。</p>
40	<p>1 庁舎整備の必要性(基本構想案 10頁) 特に(3)将来負担の軽減の項目に着目しています。 現在、関東地方で就業している息子や友人達は、いずれ嬉野に帰って来たいと言っているようです。大変、心強いと思います。彼等が中心となる頃に、大急ぎで庁舎の建替えをするのではなく、冷静に今現在、決断を示してくれた市長に親の立場として感謝しています。彼等に財政の過度な負担なく、安全な庁舎を残してやることは、適切な投資だと思います。(1)(2)に比べ、(3)は目に見えにくいですが、大事な根拠だと思います。</p> <p>(3)あり方検討委員会による検討(基本構想案 18頁) 表 庁舎5案 基本項目一覧表 とてもわかりやすいです。5案の備考「塩田庁舎は閉庁」はのちに「使用範囲縮小」方向になったのだと思いますが、私は5案が良いと思います。</p> <p>表 候補地一覧(基本構想案 26頁) これもとてもわかりやすいです。9/15の説明会でも意見が出ましたが、AかBどちらかだと駐車場がとても狭く、せっかくの庁舎も不便になってしまうと思います。災害時の用途拡大のためにも、A+Bで駐車場を広く取るようにお願いしたいです。</p> <p>6 事業手法(基本構想案 31頁) DB方式が良いと思います。従来方式では、設計と施工がバラバラになり、その間で生じる修正に係る時間＝人件費、部材の一括購入と無駄のないカットの仕方ができない等支障が出ると思います。PFI方式は地元企業を圧迫しかねないイメージがあり、市役所の建て方には馴染まない気がします。</p>	<p>新庁舎整備の必要性は基本構想案に示しているとおおり、(1)防災拠点の整備の必要性 (2)市民サービスの向上 (3)将来負担の軽減を考えてのものです。</p> <p>庁舎のあり方検討委員会では、比較検討するために5パターンを示し、検討をしていただきました。建設場所、事業手法に関しては、基本構想の次のステップである基本計画の中で決定していくことにしています。</p>

番号	ご意見の内容	ご意見に対する対応
41	<p>9/15説明会に参加した際、嬉野町の会場でなぜに反対意見が多いのかと驚き、がく然としました。しかし、来場していた知人に聞けば、ああいう会には反対の人が来るものだと言われ、少しホッとしました。そして、せっかくの説明会をきちんと聴くこともない人々による持論の展開で妨害され、本当に腹立たしく思い帰りました。かと言って何も意見もできませんでした。100%賛成は有り得ないことですが、誰かがGOサインを出さなければ先へは進めず、市長や前に並んだ職員さんが一生懸命回答して下さった姿を拝見できただけでも、説明会に参加して良かったと思いました。頑張ってください。期待しております。</p>	<p>庁舎整備に向けては、丁寧な説明が欠かせませんので、今後計画を進めていくにあたり、機会を捉え市民の皆様への説明を積み重ねていくことにしています。</p>
42	<p>1 合併前の約束は塩田に本庁を置くとの事だったが、すぐに両方共も庁舎と言う名称に変更になりましたが、最初からの意図での考えで上手く進んだわけですか？ 最初の基本通りに塩田を本庁にする。嬉野に市役所を作るなら塩田の住民投票をして決めてください。(権利と義務を守って)</p>	<p>支障なく円滑に業務を遂行していくために変更したものです。住民投票を実施する考えはありません。</p>
43	<p>2 塩田市役所は災害に弱いと言っていますが、何の対策もしないなら危ないでしょうが、今は最新技術を持って(AI・ドローン等)越水するかどうかを監視する体制をすればいいのでは？ いまや情報は携帯や防災無線の活用して避難してもらえます、わざわざ市役所の人動く必要はないのでは？</p> <p>3 塩田は嬉野・鹿島・武雄の中心です、国道498号の整備に努力をしないから水が溢れる、孤立します、なんらかの方法があるのでは？</p>	<p>近年襲ってくる大雨に対処するためには、国・県などの関係機関とも連携し、対策を取っていく必要がありますので、協議を重ねているところであり、市民の皆様のお安全安心の拠点としての庁舎を整備していくことで、防災面の充実を図っていきます。</p>
44	<p>4 嬉野にたくさんのお茶の展示場や温泉関係・高速道路や新幹線と施設が出来ていますが、全ての利用状況と収支関係を公表してください。</p>	<p>嬉野市に関する各施設の利用状況及び収支関係は情報公開請求の手続きをお願いします。</p>

番号	ご意見の内容	ご意見に対する対応
45	<p>嬉野高校の校舎を塩田校舎への統合を早急に県と協議し、嬉野校舎跡地への建設は検討されたのか。新幹線の駅もあり最適だと思う。</p>	<p>県とも協議をしましたが、現時点におきましては、嬉野高校の嬉野校舎が跡地になるような計画はありません。</p>
46	<p>周辺部から日常生活拠点へのアクセス改善とは、公共交通のアクセス数を増やすと言う事なのか？</p>	<p>経済活動の活性化につながるように、周辺部と市街地へのアクセスを改善し、市全体の公共交通網の整備を図っていきます。</p>
47	<p>市民サービスの向上の妨げとなって、嬉野庁舎が新庁舎になったら、具体的に市民サービスはどの様に向上するのか、お尋ねします。</p>	<p>塩田庁舎においては、地域の皆様の身近な行政サービス窓口は継続し、また嬉野・塩田両庁舎間を結ぶネットワーク機能を活用しながら、行政サービスの維持に努めるとともに、ICT技術の導入により市民サービスの向上を図っていきます。</p>